# Ⅲ　児童（18歳未満）の保護者の方を対象とした調査

調査票の回答者＞

**◆「母親」が83.2％、「父親」が15.7％**

【全体】

・「母親」が83.2％で最も多く、次いで「父親」が15.7％、「両親以外の家族」が0.6％、などとなっています。

【障害別】

・身体障害と医療的ケア児で「父親」が２割を超えています。

問１　この調査票に回答していただく方は、あて名のお子さんから見て、どなたにあたりますか。（○はひとつ）



※問９で、何らかの医療的ケアを必要としていると回答した方を「医療的ケア児」として集計。以下同様。

## １　お子さんについて

（１）性別

**◆「男性」が70.7％、「女性」が28.6％**

【全体】

・「男性」が70.7％、「女性」が28.6％となっています。

【障害別】

・全ての属性で「男性」が多くなっています。

問２　お子さんの性別をお聞きします。（○はひとつ）



「無回答」の選択肢を選んだ方の割合

どの選択肢も選ばなかった方の割合

（２）年齢

**◆「３～５歳」が31.4％、次いで「６～８歳」が21.0％、「９～11歳」が16.3％**

【全体】

・「３～５歳」が31.4％で最も多く、次いで「６～８歳」が21.0％、「９～11歳」が16.3％などとなっています。

問３　お子さんの年齢をお聞きします。令和４年11月１日現在の満年齢をお書きください。



【障害別】

・精神障害で「15～17歳」、手帳・診断なしで「３～５歳」が多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数



（３）同居家族

**◆「母親」が94.7％、次いで「父親」が89.3％、「兄弟姉妹」が60.5％**

【全体】

・「母親」が94.7％で最も多く、次いで「父親」が89.3％、「兄弟姉妹」が60.5％などとなっています。

問４　あて名のお子さんと一緒に住んでいるのは誰ですか。（○はいくつでも）



【障害別】

単位：％、（　）内は回答者総数



## ２　障害や健康の状況について

（１）手帳や医療券の種類

**◆「これらの手帳等は持ってないし、診断も受けていない」が35.6％**

①手帳や医療券の種類

【全体】

・「これらの手帳等は持ってないし、診断も受けていない」が35.6％で最も多く、次いで「愛の手帳」が32.8％、「発達障害」が26.4％、「身体障害者手帳」が13.4％などとなっています。

問５　お子さんが持っている手帳や医療券などの種類をお聞きします。手帳をお持ちの方は、等級・程度もご記入ください。また、自立支援医療や難病医療の給付を受けていたり、発達障害、高次脳機能障害などの診断を受けている方は、あてはまるものに○をつけてください。（○はいくつでも）



【重複障害の状況】

・身体障害のある方のうち、42.2％が愛の手帳を所持しています。また、医療的ケア児のうち、60.3％が身体障害者手帳、38.2％が愛の手帳を所持しています。

単位：％、（　）内は回答者総数



②身体障害者手帳の等級

・「1級」が59.0％で最も多く、次いで「2級」が18.1％、「3級」が10.8％などとなっています。



③愛の手帳の程度

・「4度」が47.3％で最も多く、次いで「2度」が27.1％、「3度」が22.2％などとなっています。



④精神障害者保健福祉手帳の等級

・所持者は全体で19人で、「３級」が13人、「２級」が５人、無回答が１人となっています。

⑤発達障害の診断名

・「自閉スペクトラム症（ASD）」が68.1％で最も多く、次いで「注意欠如・多動症（ADHD）」が36.8％、「学習障害（LD）」が13.5％、「発達性協調運動障害」が4.9％、「無回答」が5.5％となっています。



⑥難病の診断を受けてからの期間

・該当者は20人で、「２～５年未満」が８人、「５年以上」が５人、「１年未満」「１～２年未満」が２人、「無回答」が３人となっています。

（２）身体障害の種類

**◆「肢体不自由（上肢・下肢・体幹等）」が75.9％**

【全体】

・「肢体不自由（上肢・下肢・体幹等）」が75.9％で最も多く、次いで「内部障害（心臓、呼吸器、腎臓、ぼうこう・直腸、小腸、免疫機能、肝臓）」が27.7％、「聴覚・平衡機能障害」が18.1％などとなっています。

問６　【問５で「身体障害者手帳」と回答された方にお聞きします。】どのような障害がありますか。（○はいくつでも）



（３）発達の特徴として心配なこと

**◆「言葉が遅れている」が40.5％、次いで「不器用なところがある」が37.3％**

【全体】

・「言葉が遅れている」が40.5％で最も多く、次いで「不器用なところがある」が37.3％、「落ち着きがない」が34.5％などとなっています。

問７　【問５で「これらの手帳等は持ってないし、診断も受けていない」と回答された方にお聞きします。】
お子さんの発達の特徴として心配なことはありますか。（○はいくつでも）



（４）障害等に気づいたきっかけ

**◆「家族や周りの人が気づいた」が29.1％**

【全体】

・「家族や周りの人が気づいた」が29.1％で最も多く、次いで「生まれてまもなく知らされた」が14.2％、「保育園、子ども園、幼稚園の先生が気づいた」が12.9％などとなっています。

問８　お子さんの障害や心身の不調・特性について、はじめてわかったのは、どのようなときでしたか。（○はひとつ）

【障害別】

・身体障害と医療的ケア児で「生まれてまもなく知らされた」が多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数



（５）医療的ケアの必要性

**◆『何らかの医療的ケアを必要としている』が11.0％**

【全体】

・回答者全体から「特に必要としていない」と回答した方と無回答の方を差し引いた『何らかの医療的ケアを必要としている』方は11.0％となっています。

【障害別】

・身体障害、難病・特定疾患で『何らかの医療的ケアを必要としている』方が多くなっています。

問９　お子さんは日常的に必要としている医療的ケアがありますか。（○はいくつでも）

※前回は「はい」「いいえ」の択一形式の質問

【何らかの医療的ケアが必要と回答した方のみの集計】

・「排便管理」が45.6％と最も多く、次いで「痙攣時の対応（座薬、吸引、酸素投与等）」が38.2％、「吸引」が30.9％などとなっています。



※「特に必要としていない」と無回答を除く集計

【障害別】

単位：％、（　）内は回答者総数



（６）治療や相談をしている医療機関

**◆「専門病院（療育・リハビリ科・精神科など）」が38.0％**

【全体】

・「専門病院（療育・リハビリ科・精神科など）」が38.0％で最も多く、次いで「大学病院」が29.3％、「専門の診療所・クリニック」が14.7％などとなっています。「医療機関には相談していない」は22.7％です。

問10　お子さんの障害や心身の不調・特性について、どのような医療機関で治療を受けたり、相談をしたりしていますか。（○はいくつでも）



【障害別】

・身体障害、難病・特定疾患、医療的ケア児で「大学病院」、精神障害で「専門の診療所・クリニック」が多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数



【身体障害の種類別】

単位：％、（　）内は回答者総数



（７）介助や支援が必要なこと

**◆「学習の支援」が45.1％、次いで「通院、通園・通学」が39.6％**

【全体】

・「学習の支援」が45.1％で最も多く、次いで「通院、通園・通学」が39.6％、「日常生活動作の見守り」が39.2％などとなっています。「全て」は6.6％、「介助や支援は必要ない」は23.1％となっています。

問11　お子さんは、毎日の生活の中で、どのような介助や支援が必要ですか。（○はいくつでも ※全てに当てはまる場合は「全て」に○）

【障害別】

・身体障害で「通院、通園・通学以外の外出」、知的障害で「学習の支援」、精神障害で「日常生活動作の見守り」、医療的ケア児で「排せつ」が多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数

（８）主な介助者

**◆「母親」が74.1％**

【全体】

・「母親」が74.1％で最も多く、次いで「父親」が2.8％、「祖父母」が0.9％などとなっています。

問12　【毎日の生活の中で介助や支援が必要な方にお聞きします。】
お子さんを主に介助・支援している人はどなたですか。（○はひとつ）

※「祖父母」「兄弟姉妹」は前回選択肢なし

※前回の選択肢「ボランティア」は今回なし

【障害別】

・全ての属性で「母親」が多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数



（９）介助や支援についての悩み

**◆「精神的な負担が大きい」が45.4％**

【全体】

・「精神的な負担が大きい」が45.4％で最も多く、次いで「子どもの特性による育てにくさを感じる」が45.1％、「何かあった時に介助を頼める人がいない」が32.8％などとなっています。

問13　【毎日の生活の中で介助や支援が必要な方にお聞きします。】
お子さんを介助・支援する立場から、どのような悩みや不安を抱えていますか。（○はいくつでも）

【障害別】

・身体障害と医療的ケア児では「何かあった時に介助を頼める人がいない」、発達障害と手帳・診断なしでは「子どもの特性による育てにくさを感じる」が多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数



【通園先（小学校入学前）別】

単位：％、（　）内は回答者総数



【通学先（小・中学校）別】

単位：％、（　）内は回答者総数

（10）きょうだい児に関する悩み

**◆「きょうだい児に日頃から我慢させていると感じる」が74.0％**

【全体】

・「きょうだい児に日頃から我慢させていると感じる」が74.0％で最も多く、次いで「きょうだい児と過ごす時間が十分につくれない」が60.6％、「きょうだい児の相談に十分乗ってあげられない」が38.5％などとなっています。

問14　【問13で「きょうだい児の世話が十分にできない」と回答した方にお聞きします。】
具体的にどのような悩みや不安を抱えていますか。（○はいくつでも）



【障害別】

・医療的ケア児で「きょうだい児と過ごす時間が十分につくれない」が多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数

##

## ３　相談や福祉の情報について

（１）日常生活で困っていること（お子さんが困っていること）

**◆「将来に不安を感じる」が46.6％**

【全体】

・「将来に不安を感じる」が46.6％で最も多く、次いで「障害のため、身の回りのことが十分できない」が25.7％、「緊急時の対応に不安がある」が25.1％などとなっています。「特にない」は20.1％です。

問15　お子さんが、日常生活で困っていることがありますか。（○はいくつでも）
（お子さんの思いをご回答ください)



【障害別】

・身体障害と医療的ケア児では「障害のため、身の回りのことが十分できない」が多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数

【年齢別】

・年齢が高くなるほど「将来に不安を感じる」が増加しています。

単位：％、（　）内は回答者総数



【通学先（小・中学校）別】

・特別支援学校の小学部で「障害のため、身の回りのことが十分できない」が多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数

（２）困った時に相談する相手

**◆「家族や親族」が75.4％、次いで「友人・知人・近所の人」が38.8％**

【全体】

・「家族や親族」が75.4％で最も多く、次いで「友人・知人・近所の人」が38.8％、「学校の教員」が35.3％などとなっています。

問16　お子さんやご家族の方が困ったときに相談する相手は誰ですか。（○はいくつでも）

【障害別】

・「家族や親族」以外では、身体障害、難病・特定疾患、医療的ケア児では「医療機関等の関係者（医師・看護師・ソーシャルワーカー）」が多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数

【年齢別】

・「家族や親族」以外では、０～５歳では「保育園・子ども園・幼稚園の先生」「子ども総合センター（発達支援コーナーあいあい）」、６歳～11歳、12～17歳では「学校の教員」が多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数



（３）気軽に相談するために必要なこと

**◆「専門性の高い相談」が44.3％**

【全体】

・「専門性の高い相談」が44.3％で最も多く、次いで「スマートフォンによるアプリやSNSでの相談」が39.0％、「プライバシーの遵守」が26.4％などとなっています。

問17　区役所などに気軽に相談するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○はいくつでも）



【障害別】

・「専門性の高い相談」を除くと、精神障害と、手帳・診断なしで「スマートフォンによるアプリやSNSでの相談」が多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数

（４）福祉情報の入手先

**◆「インターネット（ホームページやブログの閲覧など）」が55.2％**

【全体】

・「インターネット（ホームページやブログの閲覧など）」が55.2％で最も多く、次いで「児童発達支援などの療育機関」が45.6％、「医療機関」が26.2％などとなっています。

問18　障害などに関する知識や福祉に関する情報を、主にどこから得ていますか。（○はいくつでも）



※「インターネット（ホームページやブログの閲覧など）」は、前回「インターネット」

※「SNS（Facebook、Twitter、Instagram、Youtubeなど）」は前回選択肢なし

※「相談支援専門員」は前回選択肢なし

【障害別】

・手帳・診断なしで「児童発達支援などの療育機関」が多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数

【年齢別】

・０～５歳では「児童発達支援などの療育機関」が多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数



##

## ４　教育・保育について

（１）通園・通学先

【全体】

・「小中学校等に在学中」が46.3％で最も多く、次いで「小学校入学前」が41.4％、「高等学校等に在学中」が11.7％などとなっています。

問19　お子さんが通園・通学などをしているところをお聞きします。（あてはまるものに○）

【障害別】

・手帳・診断なしでは「小学校入学前」、精神障害では「高等学校等に在学中」が多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数



【小学校入学前】

**◆「保育園」が37.9％、次いで「幼稚園」が26.6％**

【全体】

・「保育園」が37.9％で最も多く、次いで「幼稚園」が26.6％、「子ども総合センター以外の児童発達支援などの療育機関」が23.4％などとなっています。



【障害別】

単位：％、（　）内は回答者総数



【小中学校等に在学中】

**◆「小学校の通常の学級」が26.6％、次いで「小学校の特別支援学級」が21.0％**

【全体】

・「小学校の通常の学級」が26.6％で最も多く、次いで「小学校の特別支援学級」が21.0％、「小学校の通常のまなびの教室（特別支援教室）」が17.5％などとなっています。



【障害別】

・身体障害と医療的ケア児では「特別支援学校の小学部」、知的障害では「小学校の特別支援学級」が多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数



【高等学校等に在学中】

**◆「特別支援学校の高等部」が51.4％、「高等学校（定時制・通信制を含む）」が45.8％**

【全体】

・「特別支援学校の高等部」が51.4％で最も多く、次いで「高等学校（定時制・通信制を含む）」が45.8％、「その他の学校」が1.4％となっています。



【障害別】

単位：％、（　）内は回答者総数



（２）通園生活等で困っていること

**◆「本人の成長が心配」が53.1％、次いで「子どもの将来に不安がある」が48.8％**

【全体】

・「本人の成長が心配」が53.1％で最も多く、次いで「子どもの将来に不安がある」が48.8％、「周囲の子どもとの関係が心配」が47.7％などとなっています。

問20　【問19で｢Ａ　小学校入学前｣と回答した方にお聞きします。】
通園生活や今後の進路等で困っていることや心配していることはありますか。（〇はいくつでも）



※「いじめについて心配」は前回選択肢なし

【障害別】

・精神障害と手帳・診断なしで「周囲の子どもとの関係が心配」が多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数



（３）小学校の入学希望

**◆「小学校の通常の学級」が37.1％**

【全体】

・「小学校の通常の学級」が37.1％で最も多く、次いで「小学校の通常の学級とまなびの教室（特別支援教室）」が19.5％、「特別支援学校の小学部」が9.0％などとなっています。「わからない」は21.1％です。

問21　【問19で｢Ａ　小学校入学前｣と回答した方にお聞きします。】
小学校はどの教育機関を希望しますか。（○はひとつ）

【障害別】

・知的障害では「特別支援学校の小学部」、発達障害では「わからない」、手帳・診断なしでは「小学校の通常の学級」が多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数



（４）通学生活等で困っていること

**◆「子どもの将来に不安がある」が64.0％、次いで「本人の成長が心配」が45.9％**

【全体】

・「子どもの将来に不安がある」が64.0％で最も多く、次いで「本人の成長が心配」が45.9％、「今後の進路について迷っている」が43.6％などとなっています。

問22　【問19で｢Ｂ　小中学校等に在学中｣または｢Ｃ　高等学校等に在学中｣と回答した方にお聞きします。】
通学生活等で困っていることや心配していることはありますか。（○はいくつでも）



【障害別】

・手帳・診断なしで「周囲の子どもとの関係が心配」が多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数



【年齢別】

・「子どもの将来に不安がある」以外では、６～11歳では「本人の成長が心配」「周囲の子どもとの関係が心配」、12～17歳では「今後の進路について迷っている」が多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数



【通学先（小・中学校）別】

・小学校の通常の学級と小学校の通常のまなびの教室（特別支援教室）で「周囲の子どもとの関係が心配」が多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数

（５）放課後や長期休校中等の過ごし方の現状

**◆「家族といる」が81.3％**

【全体】

・「家族といる」が81.3％で最も多く、次いで「児童発達支援、放課後等デイサービスを利用する」が42.7％、「習い事や塾へ行く」が26.2％などとなっています。

問23　【問19で｢Ａ　小学校入学前｣、｢Ｂ　小中学校等に在学中｣または｢Ｃ　高等学校等に在学中｣と回答した方にお聞きします。】放課後や長期休校中など、幼稚園や保育園、子ども園、学校等にいる以外の時間は、お子さんはどのように過ごしていますか。（○はいくつでも）



【障害別】

単位：％、（　）内は回答者総数

（６）放課後や長期休校中等の過ごし方の希望

**◆「児童発達支援、放課後等デイサービスを利用したい」が51.6％**

【全体】

・「児童発達支援、放課後等デイサービスを利用したい」が51.6％で最も多く、次いで「地域の同世代の子どもと遊ばせたい」が41.9％、「習い事や塾に行かせたい」が39.1％などとなっています。

問24　【問19で｢Ａ　小学校入学前｣、｢Ｂ　小中学校等に在学中｣または｢Ｃ　高等学校等に在学中｣と回答した方にお聞きします。】放課後や長期休校中など、幼稚園や保育園、子ども園、学校等にいる以外の時間は、お子さんがどのように過ごすことを希望していますか。（○はいくつでも）



【障害別】

・手帳・診断なしで「地域の同世代の子どもと遊ばせたい」が多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数

【通園先（小学校入学前）別】

・保育園、子ども園、幼稚園で「地域の同世代の子どもと遊ばせたい」が多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数

（７）中学校（中学部）卒業後の進路

**◆「高等学校（定時制・通信制を含む）に通う」が48.2％**

【全体】

・「高等学校（定時制・通信制を含む）に通う」が48.2％で最も多く、次いで「特別支援学校の高等部に通う」が24.4％などとなっています。「わからない」は18.6％です。

問25　【問19で｢Ａ　小学校入学前｣または｢Ｂ　小中学校等に在学中｣と回答した方にお聞きします。】
中学校（中学部）卒業後はどのような進路を希望しますか。（○はひとつ）



【障害別】

・身体障害、知的障害、医療的ケア児では「特別支援学校の高等部に通う」が多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数



【通学先（小・中学校）別】

単位：％、（　）内は回答者総数



（８）高等学校（高等部）卒業後の進路

①お子さんの希望

**◆「大学や短期大学へ通う」が43.1％**

【全体】

・「大学や短期大学へ通う」が43.1％で最も多く、次いで「企業等へ就職する（パート、アルバイト等を含む一般就労）」が23.6％、「専門学校や専修学校へ通う」が19.4％などとなっています。

問26　【問19で｢Ｃ　高等学校等に在学中｣と回答した方にお聞きします。】
高等学校（高等部）卒業後の日中の過ごし方は、どのようにしたいと思いますか。（○はいくつでも）

※ この設問では、｢お子さんの希望｣と｢保護者の方の希望｣をそれぞれ伺います。



※「自立訓練（生活訓練・機能訓練）事業所へ通う（障害者生活支援センターなど）」は、前回「自立訓練（生活訓練・機能訓練）事業所へ通う（視覚障害者生活支援センター、カレッジ早稲田など）」

【障害別】

・知的障害で「企業等へ就職する（パート、アルバイト等を含む一般就労）」が多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数



②保護者の方の希望

**◆「大学や短期大学へ通う」が40.3％**

【全体】

・「大学や短期大学へ通う」が40.3％で最も多く、次いで「企業等へ就職する（パート、アルバイト等を含む一般就労）」が26.4％、「専門学校や専修学校へ通う」が25.0％などとなっています。

※「自立訓練（生活訓練・機能訓練）事業所へ通う（障害者生活支援センターなど）」は、前回「自立訓練（生活訓練・機能訓練）事業所へ通う（視覚障害者生活支援センター、カレッジ早稲田など）」

※前回は選択肢に「グループホーム、障害者支援施設等へ入所する」があった

【障害別】

・知的障害で「企業等へ就職する（パート、アルバイト等を含む一般就労）」が最も多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数



##

## ５　外出やバリアフリーについて

（１）外出の頻度

**◆「ほぼ毎日」が90.5％**

【全体】

・「ほぼ毎日」が90.5％で最も多く、次いで「週に3～4回」が4.5％、「あまり外出しない」が2.3％などとなっています。

問27　お子さんは、どのくらいの頻度で外出（通園・通学含む）していますか。（○はひとつ）



【障害別】

・医療的ケア児で「あまり外出しない」が比較的多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数



（２）外出に関して困っていること

**◆「外出するのに支援が必要である」が22.5％**

【全体】

・「外出するのに支援が必要である」が22.5％で最も多く、次いで「自動車・自転車に危険を感じる」が19.4％、「駅構内の移動や乗り換えが困難」が11.5％などとなっています。「特にない」は42.7％です。

問28　お子さんは、外出（通園・通学以外）に関してどのようなことで困っていますか。（○は３つまで）

【障害別】

・身体障害、知的障害、医療的ケア児で「外出するのに支援が必要である」が多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数



（３）過去１年間の趣味や学習、スポーツなどの活動

**◆「スポーツ・軽度な身体活動」が58.1％**

【全体】

・「スポーツ・軽度な身体活動（ハイキング、ウォーキング、体操等を含む）」が58.1％で最も多く、次いで「コンサートや絵画・演劇鑑賞などの文化的活動」が36.7％、「趣味のサークル活動などの学習活動」が13.4％などとなっています。

問29　過去１年間にお子さんは、趣味や学習、スポーツ、社会活動などの活動をしましたか。（○はいくつでも）



【障害別】

単位：％、（　）内は回答者総数



##

## ６　福祉サービスについて

**Ａ　主に18歳未満の方が利用するサービス**

（１）主に18歳未満の方が利用するサービス

**◆放課後等デイサービスの****サービスの需要は50.0％**

【全体】

・「現在利用している」は、児童発達支援が38.0％、放課後等デイサービスが30.6％、日中一時支援事業（障害児等タイムケア）が3.9％などとなっています。

・「2～3年以内に利用したい」は、児童発達支援が3.7％、放課後等デイサービスが19.4％、日中一時支援事業（障害児等タイムケア）が14.2％などとなっています。

問30　お子さんは、次のようなサービスを利用していますか。また、２～３年以内に利用したいと思いますか。



障害別】



| **サービス名** | **サービスの内容** |
| --- | --- |
| 児童発達支援 | 療育を必要とする障害児等が施設に通い、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等を行います。 |
| 医療型児童発達支援 | 肢体不自由があり、理学療法等の機能訓練や、医学的管理下での支援が必要な児童のための通所支援です。 |
| 放課後等デイサービス | 就学している障害児に、放課後や休校日に生活能力の訓練、社会交流機会を提供します。 |
| 保育所等訪問支援 | 保育所等に通う障害児が集団生活に適応するために必要な専門的支援を提供します。 |
| 障害児入所支援 | 福祉型障害児入所施設と医療型障害児入所施設の2種類。入所手続きは児童相談センターが窓口です。 |
| 日中一時支援事業（障害児等タイムケア） | 障害児の放課後及び夏休み等の長期学校休校中の活動場所を提供します。 |
| 在宅児等訪問支援 | 障害児等の自宅を訪問し、遊びや生活の指導、情報提供を行います。 |
| 障害幼児一時保育 | 一時的に保育が必要なとき、障害幼児等の保育を行います。 |
| 居宅訪問型児童発達支援 | 障害児等の居宅を訪問し、日常生活における動作の指導、知識技能の付与等の支援を行います。 |

**Ｂ　児童期～成人期を通じて利用できるサービス**

（２）自宅での生活を支援するサービス

**◆居宅介護のサービスの需要は8.9％**

【全体】

・「現在利用している」は、居宅介護（ホームヘルプ）が4.5％、「2～3年以内に利用したい」は、居宅介護（ホームヘルプ）が4.4％、重度障害者等包括支援が2.4％となっています。



【障害別】



| **サービス名** | **サービスの内容** |
| --- | --- |
| 居宅介護（ホームヘルプ） | 自宅で身体介護・家事援助や通院等介助を行います。 |
| 重度障害者等包括支援 | 常に介護を必要として、意思疎通に著しい困難を有する最重度の障害者に、包括的なサービスを提供します。 |

（３）外出を支援するサービス

**◆移動支援事業のサービスの需要は21.2％**

【全体】

・「現在利用している」は、行動援護が0.5％、同行援護が0.3％、移動支援事業が11.8％、タクシー利用券が9.4％、「2～3年以内に利用したい」は、行動援護が5.3％、同行援護が1.3％、移動支援事業が9.4％、タクシー利用券が1.6％となっています。



【障害別】



| **サービス名** | **サービスの内容** |
| --- | --- |
| 行動援護 | 行動障害のある方に、移動介護や危険回避の援護などを行います。 |
| 同行援護 | 視覚障害者の外出に同行し、移動の援護や移動に必要な情報の提供をします。 |
| 移動支援事業 | 社会参加のための移動に必要な支援をヘルパーが行います。 |
| タクシー利用券 | 下肢の障害者等で、日常生活を営むのに支障がある方にタクシー券を交付します。リフト付きタクシーの予約、迎車、ストレッチャー利用券を別に交付します。 |

（４）一時的な支援を行うサービス

**◆短期入所のサービスの需要は14.1％**

【全体】

・「現在利用している」は、短期入所（ショートステイ）が2.6％、日中一時支援事（日中ショート）が1.6％、「2～3年以内に利用したい」は、短期入所（ショートステイ）が11.5％、日中一時支援事（日中ショート）が8.1％となっています。



【障害別】



| **サービス名** | **サービスの内容** |
| --- | --- |
| 短期入所（ショートステイ） | 介護者が介護できないとき、短期間の入所による介護を行います。 |
| 日中一時支援事業（日中ショート） | 介護を行う方の都合等で一時的に見守りなどが必要な方に対し、日中、入浴や食事などの介助を行います。 |

（５）補装具費・日常生活用具・住宅設備改善

**◆補装具費の支給等のサービスの需要は10.4％**

【全体】

・「現在利用している」は、補装具費の支給等が8.9％、日常生活用具給付事業が4.4％、住宅設備改善費の給付が0.5％、「2～3年以内に利用したい」は、補装具費の支給等が1.5％、日常生活用具給付事業が2.3％、住宅設備改善費の給付が3.6％となっています。

【障害別】



| **サービス名** | **サービスの内容** |
| --- | --- |
| 補装具費の支給等 | 障害者の身体機能を補完するために作成された補装具の費用を支給します。 |
| 日常生活用具給付事業 | 日常生活における福祉用具の給付を行います。 |
| 住宅設備改善費の給付 | 在宅の重度の障害者の住宅設備を事前の申請により改善します。 |

（６）日常生活のサービス

**◆相談支援事業のサービスの需要は12.6％**

【全体】

・「現在利用している」は、相談支援事業が3.1％、重症心身障害児等在宅レスパイト等サービスが3.1％、「2～3年以内に利用したい」は、相談支援事業が9.5％、意思疎通支援事業が1.1％、重症心身障害児等在宅レスパイト等サービスが1.6％、巡回入浴サービスが1.6％となっています。

【障害別】



| **サービス名** | **サービスの内容** |
| --- | --- |
| 相談支援事業 | 地域生活を支援するための様々な相談に応じます。 |
| 意思疎通支援事業 | 手話通訳者、要約筆記者等の派遣により、コミュニケーションを支援します。 |
| 重症心身障害児等在宅レスパイト等サービス | 医療的ケアの必要な重症心身障害児（者）の自宅において、訪問看護師が、医療的ケアをともなう見守りを行います。 |
| 巡回入浴サービス | 在宅で寝たきりの重度心身障害者に、巡回入浴車を派遣して、入浴の機会を提供します。 |

（７）医療に関する支援

**◆自立支援医療のサービスの需要は12.1％**

【全体】

・自立支援医療は、「現在利用している」が4.7％、「2～3年以内に利用したい」が7.4％となっています。

【障害別】



| **サービス名** | **サービスの内容** |
| --- | --- |
| 自立支援医療 | 障害を軽減する医療（更生医療・育成医療・精神通院）を給付します。 |

**Ｃ　主に18歳以上の方が利用するサービス**

（８）自宅での生活を支援するサービス

**◆重度訪問介護の利用意向は1.1％**

【全体】

・重度訪問介護は「2～3年以内に利用したい」が1.1％となっています。



【障害別】



| **サービス名** | **サービスの内容** |
| --- | --- |
| 重度訪問介護 | 重度の障害者に、総合的な介護を行います。 |

（９）日中の活動を支援するサービス

**◆日中一時支援事業（土曜ケアサポート）の利用意向は3.6％**

【全体】

・「2～3年以内に利用したい」は、生活介護が2.1％、地域活動支援センター事業が3.4％、日中一時支援事業（土曜ケアサポート）が3.6％となっています。



【障害別】



| **サービス名** | **サービスの内容** |
| --- | --- |
| 生活介護 | 常に介護を必要とする障害者に、施設などで介護や活動機会を提供します。 |
| 地域活動支援センター事業 | 地域活動支援センターで、日中活動の支援を行います。 |
| 日中一時支援事業（土曜ケアサポート） | 生活介護の支給を受けている方を対象に、土曜日の日中に、施設での活動の場を提供します。 |

（10）自立や就労を支援するサービス

**◆就労移行支援の利用意向は4.0％**

【全体】

・「2～3年以内に利用したい」は、自立訓練（機能訓練・生活訓練）が3.2％、就労移行支援が4.0％、就労継続支援（Ａ型・雇用型）が3.6％、就労継続支援（Ｂ型・非雇用型）が3.6％、自立生活援助が3.2％、就労定着支援が3.7％となっています。

【障害別】



| **サービス名** | **サービスの内容** |
| --- | --- |
| 自立訓練（機能訓練・生活訓練） | 自立生活のために、身体機能や生活能力向上のための訓練を行います。通所型と宿泊型があります。 |
| 就労移行支援 | 一般就労を希望する障害者に、一定期間就労のための訓練を行います。 |
| 就労継続支援（Ａ型・雇用型） | 障害者に雇用型の就労や生産活動の機会を提供します。 |
| 就労継続支援（Ｂ型・非雇用型） | 障害者に就労や生産活動の機会を提供します。 |
| 自立生活援助 | 定期的な巡回訪問や随時の対応により、円滑な地域生活に向けた相談・助言等を行います。 |
| 就労定着支援 | 就業に伴う生活面の課題に対応するため、事業所・家族との連絡調整等の支援を行います。 |

（11）住まいの場・住まいに関するサービス

**◆共同生活援助（グループホーム）の利用意向は3.1％**

【全体】

・「2～3年以内に利用したい」は、施設入所支援が2.6％、療養介護が1.3％、共同生活援助（グループホーム）が3.1％、福祉ホームが1.8％となっています。



【障害別】



| **サービス名** | **サービスの内容** |
| --- | --- |
| 施設入所支援 | 障害者支援施設に入所する障害者に、介護などの支援を提供します。 |
| 療養介護 | 医療を必要とする障害者に、病院などで機能訓練や看護・介護を行います。 |
| 共同生活援助（グループホーム） | 共同生活を営む住居で、日常生活の援助を行います。居室は原則個室です。 |
| 福祉ホーム | 低額な料金で居室等を提供するとともに、日常生活に必要な支援を行います。 |

（12）サービス利用に関して困っていること

**◆「サービスに関する情報が少ない」が39.3％**

【全体】

・「サービスに関する情報が少ない」が39.3％で最も多く、次いで「区役所での手続きが大変」が22.7％、「利用できる回数や日数が少ない」が21.2％などとなっています。「特にない」は29.1％です。

問31　お子さんのサービス利用に関して困っていることがありますか。（○はいくつでも）



【障害別】

・医療的ケア児で「事業者との利用日等の調整が大変」が多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数



（13）サービス等利用計画・障害児支援利用計画の作成状況

**◆「家族や支援者とセルフプランを作成している」が81.2％**

【全体】

・「家族や支援者とセルフプランを作成している」が81.2％、「相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している」が18.8％となっています。

【障害別】

・身体障害と医療的ケア児で「相談支援事業所の相談支援専門員に作成を依頼している」が比較的多くなっています。

問32　【障害福祉サービス・児童福祉法に基づくサービスを利用している方にお聞きします。】
サービス等利用計画・障害児支援利用計画の作成について、現状を教えてください。（○はひとつ）



※無回答を除いた集計

（14）利用者負担の負担感

**◆「あまり負担に感じない」が33.7％**

【全体】

・「あまり負担に感じない」が33.7％で最も多く、次いで「利用者負担は支払っていない」が22.5％、「やや負担に感じる」が16.5％などとなっています。

【障害別】

・精神障害で「非常に負担に感じる」が他と比較して多くなっています。

問33　あなたは、サービスの利用者負担（自己負担）をどのように感じていますか。（○はひとつ）



##

## ７　災害対策について

（１）災害が発生したときに困ること

**◆「一人では避難できない」が40.5％**

【全体】

・「一人では避難できない」が40.5％で最も多く、次いで「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が35.0％、「避難所で必要な支援が受けられるか不安」が30.9％などとなっています。「特にない」は23.0％です。

問34　お子さんやご家族の方が、地震や風水害などの災害が発生したときに困ることや不安なことは何ですか。（○はいくつでも）



【障害別】

・精神障害で「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」が多くなっています。また、医療的ケア児では「一人では避難できない」に次いで「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」が多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数



（２）災害に対して備えていること

**◆「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている」が57.4％**

【全体】

・「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄をしている」が57.4％で最も多く、次いで「避難所の位置を知っている」が42.6％、「日頃から家族で災害時の対応を話し合っている」が22.3％などとなっています。「特にない」は15.7％です。

問35　お子さんやご家族の方は、災害に対してどのような備えをしていますか。（○はいくつでも）



※「避難所の位置を知っている」は、前回「避難所の位置を知っている、行ったことがある」

※「要配慮者災害用セルフプランを作成している」は前回選択肢なし

【障害別】

単位：％、（　）内は回答者総数

## ８　新型コロナウイルス感染症の影響について

（１）新型コロナウイルス感染症の影響

**◆「人との交流や外出の機会が減った」が63.6％**

【全体】

・「人との交流や外出の機会が減った」が63.6％で最も多く、次いで「精神的なストレスが増した」が32.7％、「運動不足により体力が落ちた」が29.4％などとなっています。

問36　新型コロナウイルス感染症により、お子さんにどのような影響がありましたか。（○はいくつでも）



【障害別】

単位：％、（　）内は回答者総数

（２）新型コロナウイルス感染症に感染して困ったこと

**◆多く寄せられた意見等は****「外出制限、自宅待機で心身ともにストレス」「家庭内隔離が困難」「家事や介助が困難」など**

問37　新型コロナウイルス感染症にお子さんや家族が感染した方に伺います。どのようなことに困りましたか。

【記述式回答・主な意見】

※ここで掲載した回答は、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

| 外出制限、自宅待機で心身ともにストレス |
| --- |
| 体力が有り余って、暇すぎて時間を潰すのに困った。（家族全員でかかったが、２～３日で回復（軽度）した為10日間家にいてもやることがなかった。） |
| 家から出られない事が理解出来ずストレスとなり、かんしゃくが酷かった。仕方なく家で遊べる玩具を購入し、出費に困った。 |
| 不安が強い子なので感染しても通院せず、自然治癒するまで自宅にいた（もし、自分が感染したと知ったら祖父の様に死ぬとパニックになるため）。 |
| 本人が元気になっても家族の体調がまだ戻らないと外に出ることが出来ず、元気なのに何日も家に閉じ込めてもてあましているのが気の毒でした。その影響なのか、その後幼稚園で喋らなくなってしまいました。 |
| 学校の対応が厳しく、登校まで通常より時間がかかり負担が大きかった。 |
| 障害児が家で遊べる事が少ないため、かんしゃくがかなり増え、本人も家族もかなりストレスがあった。２日に１回少しでも外出できたら大変ありがたい。 |
| 家族が次々に罹患し、一番最初に感染した父のみホテル療養となってしまった為、唯一元気な３歳児の外出などができない事が大変だった。 |
| 外出できないことによる子供のストレス・きょうだい児への他害行動 |
| 発症から３～４日経過し、病状が回復すると元気に部屋を動き回り、その対応が大変だった。年の離れている弟が、本人にぶつかり数針縫うけがをしてしまった。 |
| 自宅で療養した際に下の階の住人から騒音の苦情が入った。 |
| 母子ともに感染しましたが、幸い軽度だったのですが、自宅療養期間の子供の体力やストレスの発散に困りました。（騒音を立てる常同行動があるので、近所迷惑にならないか等、親の心の負担もありました。） |
| ２週間隔離になりましたが、本人は元気で外に出たくてイライラ暴れたりしていました。 |
| 外に出られず、ストレスがたまり兄妹間でのケンカが増えた。 |
| 子供が外出できないことを理解できなかった為、かんしゃくが増えて困った。 |
| 自宅待機期間に、家庭内でストレスを発散させることが大変だった。同じ部屋のなかに、在宅勤務とオンライン授業と、未就学児がおり、音に気を遣った。 |

| 家庭内隔離が困難 |
| --- |
| 子供が感染した時、世帯内隔離が実質不可能でした。親も感染を覚悟し日々生活しました。 |
| 家族がかかったが、持病がある障害児（子）にうつったら、重症化するのではないかと、不安が大きかった。マスクをつけるのが困難だった。 |
| 子供の方が先に感染し、両親が後から感染したため大変だった。病児保育について、感染を広げないためには、休止はやむを得ないと思う。保育士さんは、子育て世代が多く、とにかく、無理をさせないで欲しい。 |
| 子供だけが感染したため、自宅内で食事や入浴、寝室を分けたり、除菌を徹底することを心がけた結果、本人の不安感が強くなり、身体中に湿疹が出たり、体調がしばらく不安定になってしまった事。 |
| 親子共に感染しましたが、子の回復が早かったため、その相手をするのがとても大変でした。また、隔離生活が非常に困難で10日間も外に出られないストレスが親子共に辛かったです。コロナの症状よりも隔離が大変でした。 |
| 家族の１人が感染したがホテル療養を望まず自宅にて療養した際、部屋数が少なく、障害児（感染症にかかりやすい）を完全に感染者から隔離できず生きた心地がしなかった。 |
| 感染隔離は不可能。３食用意するのが大変。支援の食品では子供が食べられるものが少なく、自分も体調悪いのに調理しなければならなかった。きょうだいが元気で状況が理解できず、部屋もわけられないため、ゆっくり休ませてあげられなかった。病院受診も断られ困りました。 |

| 家事や介助が困難 |
| --- |
| 食事・掃除・洗濯等、軽症だった父は仕事（単身で事務所）に行ってしまい日常生活はほとんど全て母が動かなければならず、大変すぎて記憶が薄い。 |
| 家族が感染し、難病の子供にうつさないようにするのが大変でした。食料が段ボール２つ届き、大変な時に助かりましたが、病人の食事ではなかったです。感染し、病院にたくさん電話しましたが、診察してもらえませんでした。診察可能でも薬局が不可もあり、とても大変でした。 |
| 本人以外家族が感染して濃厚接触者になり、通学ができなくなり家で１日中過ごした期間が２週間あり、誰にも預けられず感染して苦しい間も世話をしなければいけないことに困った。 |
| 両親共に感染し、子供を預けることもできず、体調不良のまま必死に子供の世話をしました。きょうだいもですが、特に障害のある娘はハイリスクなため、うつらないか心配でした。 |
| オンライン授業がないため家族（母親）がつきっきりで面倒をみることになる。私自身（母親）が体調が悪くても頼れる人がなく大変だった。 |
| 子供から親へ感染が広がり、家事がだるくて出来ず食事の支度も辛かったです。同居の義理両親は高齢なので、２週間会わずに生活しました。２週間誰にも頼れないのは心細く、独りで抱え込むので本当に辛かったです。もう二度と繰り返したくありません。 |
| 大人だけ起き上がれず子供は元気だったため、症状がひどいタイミングで面倒をみるのが困難だった。 |

|  |
| --- |
| 食料調達、日用品の確保が困難 |
| 食料支援を依頼し、２～３日で届くと言われたのに、療養期間が終わってから届いた。待っている間不安だった。３ヶ月位は不調が続いた。保険の申請や会社や学校への連絡がたくさんあってとてもバタバタしました。 |
| 買い出し。食べられる物が少ないので、都から頂いた食料では、本人の食べられるものがない。 |
| 家族全員感染した。大人の食事などはなんとかやっていけたが、子供の食事の準備が大変だった。 |
| 食事の買い出しに行けなくネットスーパーを利用したが、高い商品が多く、出費がかさんだ。 |
| 食料支援があっても、状態によっては食べられない。食料もありがたいですが、日用品を少しでも支援して頂きたいと思う程困ってました。 |
| 子供は特定のものしか食べられないのに、食糧を買いに行けなかった。 |

|  |
| --- |
| 福祉サービスの利用が困難 |
| ヘルパーさんが訪問不可になったこと。家庭内隔離が難しく家族4人中3人がかかった。そのため待機期間と療養期間が3週間と長くなり、ヘルパー訪問が全く無く在宅生活に限界を感じた。 |
| 新型コロナウイルス感染時、褥瘡も煩っており、毎日のケアが必要だったのだが、居宅訪問型児童発達支援の看護師派遣は全てストップし、訪問看護をお願いしている事業所２ヶ所の内１ヶ所もストップした。往診ドクターともう１ヶ所の看護事業所と具合の悪い家族がケアをするしかなくなり困った。 |
| 一人でも家族の中で感染者がいると保育園の通園もできず、すべての療育支援を受けることができない上、仕事もできない期間が2週間以上あり、生活全般が絶望的になる。 |
| 自宅隔離期間が解除されるまで、一切の支援サービスを受けることができず、親も体調不良の中子どもの看病をすることが心身ともに非常に負担に感じた。 |

| 医療機関の受診が困難 |
| --- |
| 初めての子供、初めての病気で何がどの程度悪い場合病院に行っていいのか、救急になるのかが分からず、戸惑いました（子供が自ら病状を説明出来ない為）。また私自身が罹患した際の子供のお世話が大変でした。 |
| ＰＣＲ検査や通院で待つ際に体調も悪く大変だった。きょうだいで感染したが、保護者一人で付添と言われ、障害があることを伝えても変えてくれずに一人で連れて行く事が大変だった。 |
| 診察してもらえる病院がなくて自宅で漢方を飲んで対応した。熱は高かったが、意識はあったので良かったが、もっとひどい状態だったらと思うと怖かった。食事が摂れなかったので栄養ゼリー等買いに行きたかったが、行かれなくて大変でした。 |
| 夜驚症（発達障害）による発作か、熱痙攣かが分からず、クリニックに電話で問合せしたり、発熱外来に電話をした。結局何かわからず、落ち着く（目覚めさせて）のを見守るのみでした。 |
| 本人が感染し急に初めて単独で入院し、ベッドから動くことも出来ずストレスが大きかった。月日が経ってもその時の入院を思い出すと辛くなる様子。自宅待機期間後も、ヘルパーさん等が感染した人の家に訪問するのが不安なのではないかと、サービスの再開がなかなか出来なかった。 |

|  |
| --- |
| 入院関連 |
| 子供の１人が入院を勧められましたが、もう１人の子供がいるため、入院はできず点滴を打ちに行く事になった。入院と判断されるまでに時間を要した。 |
| 待機期間明け直後に子供が入院することになったが、陽性の為に付添入院ができずに、子供のみの入院となった。意思疎通が図れない為不安だった。待機期間明けにも関わらず、家族最後の感染者の待機期間明けまで登校できずに親の出勤が出来なかった。 |
| いつもの病院に入院させられなかった。 |

|  |
| --- |
| 仕事に支障が出た |
| 学校で感染が広がり、何度も濃厚接触による急な学校への迎えや自宅待機があったことで保護者の仕事に影響があったこと、本人の通院が出来なくなったこと。３日分程の備蓄をしていたが、家族全員濃厚となり、長期間買い物に出られなかったこと。 |
| 学校休校による在宅支援、職場理解がなく、子連れ出勤となった。パワハラも受けた。介護支援や福祉支援を該当者だけでなく、周囲にも認知されないと家族の精神負担が大きい。 |

| その他 |
| --- |
| 一般の方と変わらない対応を受けたので（通院予約できず、自宅で様子見）、障害がある方へのサポートを手厚くしてくれても良いと思った。軽症で済んだので問題なかったが、心疾病などあり、要配慮でも全く通常の対応をされたので。 |
| 自粛して自宅療養と隔離をしたので、医師からの診察無しで保健所への届け出がなかったので、保険金が貰えなかった。 |
| 子供が感染しました。重い症状ではなく自宅待機だったので、親自身が看護できたので本人のストレスや親の不安は少なく済みましたが、小学高学年の息子がもし、ホテルで１人で療養になった場合、本人がパニック起こしたり不安になったりしないか？親も同行できるのか？等、心配になりました。 |
| 子どもはマスクの着用を嫌がり、外出先でも気を使いました。病院でも、3歳以上の子どもはマスクをつけていないと入れません、と言われ困りました。家族で感染した時も、家の中でマスクは難しかったので、あきらめました。 |

## ９　権利擁護について

（１）差別と感じる取扱いを受けた経験

**◆「学校、教育の場面で」が7.9％**

【全体】

・「学校、教育の場面で」が7.9％で最も多く、次いで「公共交通、公共施設などで」「保育園、子ども園、幼稚園などで」が6.0％、「近隣、地域で」が5.3％などとなっています。「特にない」は64.7％です。

問38　あなたのお子さんは最近３年間で、障害があることが原因で、差別と感じる取扱いを受けた経験がありますか。あてはまる場面の番号に○をし、具体的な内容をご記入ください。（○はいくつでも）



※「保育園、子ども園、幼稚園などで」は前回選択肢なし

【障害別】

単位：％、（　）内は回答者総数



【記述式回答・主な意見】

※ここで掲載した回答は、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

| 意見の内容 | 障害の種類 | 性別・年齢 |
| --- | --- | --- |
| 保育園に通いたくても通う事が出来なかった事。医療的ケアがあった為。 | 内部障害 | 男性・5歳 |
| 土曜日勤務に変更を考えた際に相談したが、加配である息子の預かりは出来ないと言われました。普段から一生懸命見て下さっているので逆にそれ以上頼む事が出来ず、金曜日（会社は土曜日勤務に変更してもＯＫでしたが）の療育の為に欠勤しています（時々）。 | 知的障害、発達障害 | 男性・3歳 |
| 差別ではないが、特性が有りそうと念のため伝えた事が原因で対応出来るか分からないと言われた（経験がないという理由でした）。伝えるべきか迷う事が多い。知識がない人に偏見を持たれる。 | 手帳・診断なし | 男性・3歳 |
| 普通の地域の学校に支援を受けながら通える様にして欲しい。 | 知的障害、肢体不自由 | 女性・6歳 |
| 賃貸住宅を探している時、仲介の不動産屋さんに子供の障害のことを伝えたところ、賃貸は難しいと言われた。 | 知的障害 | 男性・17歳 |
| 過敏があり、マスクがつけられず入場を断られる。未就園児でもマスクをつける努力義務があった時代。 | 知的障害 | 女性・4歳 |
| 声を出したり、じっとしていられない特性があるのですが、バスの中で触るな、こっちに来るなと言われた。 | 知的障害 | 男性・10歳 |
| 耳鼻科で診察する際、怖がってパニック状態の息子を見て、あきらめられた。歩み寄りがない場面は壁を感じます。 | 知的障害 | 男性・7歳 |
| とある私立幼稚園で、加配が該当学年がすでに枠いっぱい、となっているため受け入れられないと言われた。 | 発達障害 | 女性・4歳 |
| 外出時、強いかんしゃくを出してしまうことがあり、周りから嫌な顔をされることが多い。 | 手帳・診断なし | 男性・3歳 |
| 自閉症スペクトラムのことを話すと、入塾を拒否された幼稚園受験施設があった。入塾拒否の詳細な理由は不明だが、おそらくそれが原因の様な気がした。 | 精神障害 | 男性・6歳 |
| コロナ禍により、子供がずっとはマスクを付けていられないことで受けたいサービスを断られたりしたことが何度かある。 | 手帳・診断なし | 男性・3歳 |

（２）配慮があって助かったこと

**◆「学校、教育の場面で」が11.8％**

【全体】

・「学校、教育の場面で」が11.8％で最も多く、次いで「保育園、子ども園、幼稚園などで」が10.0％、「公共交通、公共施設などで」が6.6％などとなっています。「特にない」は57.0％です。

問39　障害者差別解消法と関連して、障害などへの配慮として良いと思ったこと、配慮があって助かったこと、改善されたと感じたことはありますか。あてはまる場面の番号に○をし、具体的な内容をご記入ください。（○はいくつでも）



※「保育園、子ども園、幼稚園などで」は前回選択肢なし

【障害別】

・身体障害と医療的ケア児で「公共交通、公共施設などで」「区役所などの行政機関で」、精神障害と発達障害で「学校、教育の場面で」がやや多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数



【記述式回答・主な意見】

※ここで掲載した回答は、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

| 意見の内容 | 障害の種類 | 性別・年齢 |
| --- | --- | --- |
| 幼稚園で加配が付き、充実した園生活が送れた。 | 発達障害 | 男性・5歳 |
| 学校での支援に助けられている。 | 手帳・診断なし | 男性・6歳 |
| 運動会など、参加するのが難しい行事でも、出来ることだけでいいと言っていただけて、自由に参加したりしなかったりさせて頂いた事。 | 手帳・診断なし | 女性・5歳 |
| 一人で落ち着ける場所を確保して頂いた。 | 発達障害 | 男性・7歳 |
| あいあいに行く事で保育園に子供の特性が伝わりやすくなったと思う。 | 手帳・診断なし | 男性・6歳 |
| 子ども園の先生が個別に相談に親身になって乗ってくれた。 | 手帳・診断なし | 男性・3歳 |
| コロナの中でも、放課後等デイサービス事業は継続して利用出来たことには本当にありがたく感謝しています。親子共にストレスが軽減され心身共にすこやかに過ごせました。 | 知的障害 | 男性・13歳 |
| 学校の先生は理解ある方もいる。先生によってではなく学校全ての先生で温度差がなくなると良い。 | 手帳・診断なし | 男性・7歳 |
| 合理的配慮として、字幕がふられている画像や映像が増えたと思います。耳から受け取れる情報が限られているため、もっと選択できるようになると助かるなと思っています。 | 発達障害 | 男性・9歳 |
| 学校、先生方が理解して頂けることが増えた気がします。 | 手帳・診断なし | 男性・11歳 |
| 学童の先生に子供の状況を説明し協力をお願いしたところ、快く対応してくださった。 | 手帳・診断なし | 男性・9歳 |
| 何度も全校集会等で、話を先生方が子供達にしてくださり、４年生になってからは学校内での問題は減りました。 | 精神障害、発達障害 | 男性・9歳 |
| 障害者・児・家族の声を聞いて下さり、改善されていくケースが増えた。 | 肢体不自由 | 女性・6歳 |
| 車いす利用なので電車移動の時に、ホームと電車の隙間が少ない所や、エレベーターが増えているなと感じる。 | 難病・特定疾患、肢体不自由 | 女性・5歳 |
| 現在通っている学校で先生達には感謝しかない程、配慮して頂いています。今は受験生で普通科進学希望。高校で同じように配慮して頂けるか不安です。 | 肢体不自由 | 女性・14歳 |
| 園長先生をはじめ、担任の先生方が「関わり方など、保育の参考にしたいので教えて下さい」と向こうから歩み寄って下さったので、安心して預けています。 | 手帳・診断なし | 男性・3歳 |
| 本人以外の家族へのケアが大きい。 | 発達障害、難病・特定疾患 | 男性・3歳 |
| 小学校の先生とまなびの教室の先生は、特性に合わせた接し方をしてくださって、日々とても助けられています。 | 発達障害 | 男性・7歳 |
| 療育を福祉サービスの一環として受けられるのはとてもありがたいです。 | 発達障害 | 男性・5歳 |
| 医療的ケア児の受け入れをしてくださるようになったこと。 | 知的障害 | 女性・9歳 |
| 幼稚園で加配の先生をつけてもらって、本人も保護者も安心して通園できています。 | 手帳・診断なし | 男性・5歳 |

（３）障害者差別の解消のために力を入れるべきこと

**◆「地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと」が48.2％**

【全体】

・「地域や学校等でともに学び、ともに暮らすこと」が48.2％で最も多く、次いで「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報」が40.5％、「地域や学校等で交流の機会を増やすこと」が35.9％などとなっています。

問40　障害者差別の解消を推進するために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（○はいくつでも）



【障害別】

単位：％、（　）内は回答者総数

【年齢別】

・12～17歳では「学校や生涯学習での障害に関する教育や情報」が多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数

（４）成年後見制度の認知状況

**◆「概要については知っている」が37.4％**

【全体】

・「概要については知っている」が37.4％で最も多く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」が35.3％、「知らない」が18.0％などとなっています。

【障害別】

・手帳・診断なしで「知らない」が比較的多くなっています。

問41　成年後見制度を知っていますか。（○はひとつ）



（５）成年後見制度の利用意向

**◆「利用したい」が12.5％、「利用は考えていない」が28.6％**

【全体】

・「利用したい」が12.5％、「利用は考えていない」が28.6％、「わからない」が55.2％となっています。

【障害別】

・身体障害、知的障害、医療的ケア児で「利用したい」が比較的多くなっています。

問42　お子さんが成人した後、成年後見制度を利用したいと思いますか。（○はひとつ）



## 10　将来について

（１）将来の生活の希望

**◆「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」が34.3％**

【全体】

・「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」が34.3％で最も多く、次いで「グループホーム、福祉ホームで生活する」が6.1％、「障害者の入所施設に入所する」が2.8％となっています。「わからない」は44.3％です。

問43　お子さんは成人後、どのような生活を希望していますか。（○はひとつ）



【障害別】

・身体障害と知的障害で「必要に応じてサービスを利用しながら地域で在宅生活を継続する」が多く、知的障害では「グループホーム、福祉ホームで生活する」も多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数

（２）地域で安心して暮らすために重要な施策

**◆「教育・療育の充実」が36.9％、次いで「雇用・就労支援の充実」が29.8％**

【全体】

・「教育・療育の充実」が36.9％で最も多く、次いで「雇用・就労支援の充実」が29.8％、「親が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」が29.6％などとなっています。

問44　お子さんが地域で安心して暮らしていくためには、どのような施策が重要だと思いますか。（○は３つまで）

【障害別】

・身体障害と知的障害で「親が高齢になったり、亡くなった時に本人の権利を守る仕組みづくり」、精神障害で「雇用・就労支援の充実」、医療的ケア児で「医療的ケアの必要な障害児に対する支援の充実」が多くなっています。

単位：％、（　）内は回答者総数

【通園先（小学校入学前）別】

単位：％、（　）内は回答者総数



## 11　自由意見

問45　障害者福祉施策に関して、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

・「区への意見・要望」が41件と最も多く、次いで「福祉サービス」が36件、「学校・教育」が30件などとなっています。

|  |  |
| --- | --- |
| 回答の内容 | 件数 |
| １ | 区への意見・要望 | 41 |
| ２ | 福祉サービス | 36 |
| ３ | 学校・教育 | 30 |
| ４ | 保育・療育 | 25 |
| ５ | 家族支援 | 16 |
| ６ | 将来の不安 | 13 |
| ７ | 経済的支援 | 12 |
| ８ | 障害理解 | 12 |
| ９ | 健康・医療 | ５ |
| 10 | その他 | 12 |
| 合計 | 202 |

【１　区への意見・要望】

※ここで掲載した回答は、大意を変えずに一部を省略・要約している場合があります。

| 意見の内容 | 障害の種類 | 性別・年齢 |
| --- | --- | --- |
| 受給者証をもらう時に書く書類に、子供の名前を書くところがありますが、「障害児童名」（だったかな？）というのを「サービス利用児童」とか、別の表現にして欲しい。うちの場合、まだ２才になったばかりで診断がおりてない状態なのに、こういう表現を使われるのは、ちょっと精神的に重いです。いずれ診断おりるかも、と心の準備をしつつあるところではありますが、まだよく分からない段階で、そういう言葉を見ると、まだ受け止めきれないです。他にもそういう表記がないか、見直して欲しい。 | 手帳・診断なし | 女性・2歳 |
| 福祉の制度を利用するためには、全て自分で調べないとダメで、その資料もとても分かりにくい。年齢に合った制度を紹介してもらえる取り組みがあっても良いと思います。 | 知的障害 | 男性・11歳 |
| 正直、自分の子供に障害がなかったら知る事は無かったであろうサービスも、もっと子供が生まれた時に冊子で配るなど、情報発信をして欲しいと思った。調べてやっとたどり着くサービスは、知らなくて困る人もいるだろうし、そこまでしないと知る事の出来ない情報になっている事は残念だと思う。もっと手に届きやすい相談しやすい体制になって欲しい。そもそも発達の子や精神障害の子は外に出るのも親子とも難しい事が多いので、こちらから出向くより、手軽にメールやＬＩＮＥなどで相談できる体制も作った方が利用しやすい。この調査が今後のサービス向上に繋がることを期待します。 | 知的障害、精神障害 | 女性・18歳 |
| いつもお世話になり、ありがとうございます。セルフプランの提出ですが、毎年書き直すのが大変なので変更なければ確認のみで提出不要だと助かります。 | 知的障害 | 男性・8歳 |
| バリアフリーをもっと促進してほしいです。特に電車に今増えているスロープをかけずに乗れる仕組みをもっと増やして欲しいです。特に新宿駅は全ての出口にエレベーターの設置を願います。出たい出口にエレベーターがなく、反対にでて遠回りをしなくてはいけないことが多々あります。 | 肢体不自由 | 女性・7歳 |
| 出産してからまずはじめの一歩をどう歩みだしてよいのかわからなかった。産院と公共支援や施設などを橋渡しする流れが必要だと思います。 | 手帳・診断なし | 女性・2歳 |

【２　福祉サービス】

| 意見の内容 | 障害の種類 | 性別・年齢 |
| --- | --- | --- |
| 放課後等デイサービス（送迎付き）を増やして欲しい。少なすぎると思う。 | 難病・特定疾患 | 男性・5歳 |
| 一人一人様々な障害であると思うので制度がこうだからなどと枠にはめるのではなく、臨機応変にその人に会うサービスの提供をして欲しい。緊急の一時ショートなど作って欲しい。 | 肢体不自由、音声・言語・そしゃく機能障害 | 男性・13歳 |
| 高校生以上でも利用しやすい放課後等デイサービスの充実。就労訓練だけでなく、知的障害のある子供がゆっくり学べる場があると嬉しいです（特別支援学校の高等部以外でも）。 | 知的障害 | 男性・13歳 |
| 医療的ケアが必要な児の短期入所先が区内になく困っています。医療的ケア対応可となっているところでも、問い合わせると不可だったりして区内には短期入所先がありません。また、学校の送迎バスに乗れなかったり、医療的ケア児対応の放課後等デイサービスが少なく週５日通えないため、保護者の安定した就労が難しくなっています。夜間もケアがあるため睡眠不足が続き体調不良になることも多いです。医療的ケア児を安心して預けられる場所を増やして頂けると助かります。 | 知的障害、肢体不自由、内部障害 | 男性・7歳 |
| 移動支援を探し続けてもうすぐ１年が経とうとしています。コロナでヘルパーさんの人数も減ってしまったようです。放課後等デイサービスも、質より量のように感じられ、預け先に悩んでおります。都内は場所も狭く、雑居ビルなどの中で運営されているのでゆとりのあるスペースがあるといいなと思います。 | 知的障害 | 男性・7歳 |
| 色々なサービスがあるようですが、どのサービスが具体的に、どうのようなケースの場合に使えるものなのか…ということが分かりづらく、ホームページにあるような説明では判断しにくい。具体例が添えてあると助かる。そうでなければ、実際に窓口へ行って質問をたくさんして教えてもらうことになり、その場合、共働きだと、仕事を休まざるを得ず、何のためのサービスか…？と思うことがある。 | 肢体不自由 | 女性・3歳 |
| 予約などがとりにくく時間がかかるので子供の成長に関して相談できるところが多くあると良い。 | 手帳・診断なし | 男性・5歳 |
| 移動支援、放課後等デイサービスの利用枠が非常に少なく、特に夏休みなどの長期休みの間、居場所を確保するのに苦労しています。親の就労継続にも影響することであり、充実していただけないかと思っております。 | 知的障害 | 男性・10歳 |
| まいぺーすの増枠が必要。 | 知的障害 | 男性・15歳 |

【３　学校・教育】

| 意見の内容 | 障害の種類 | 性別・年齢 |
| --- | --- | --- |
| ゆくゆくは、支援学級への転学も検討していますが、近隣に支援学級が少ない。近くに一つある支援学級も、先生が足りていない、生徒数が年々増えているという事で、いざ転学を希望しても支援学級に入れるのか、不安に感じています。 | 手帳・診断なし | 男性・8歳 |
| うちの子は特別支援学校に通っていますが、コミュニケーションはわりと普通なので、通常の学校、学園生活を望んでいます。障害児のみの特別支援学校ではなく、普通の高校の中に支援が受けられる形で、体育祭、学園祭などは普通の高校生の様な盛り上がりを楽しませてあげたいです。 | 知的障害、発達障害 | 男性・16歳 |
| 小学校のまなびの教室を利用させて頂いています。細かいケアを心身共にして下さり、親子でとても頼りにしています。イジメなどトラブルも大きく（大事に）ならないうちに相談できました。とても感謝しています。 | 手帳・診断なし | 男性・11歳 |
| 障害者が置かれている状況は娘が小学部に入学した時から変わっていない。学校の教科の内容も今年やっとタブレットを入れたりしているが、遅いと感じる。便利な物はどんどん使えばいいし、大人も柔軟に対応しなければいけないのに、変わっていかない。「変えよう」と声を上げても「そんなの無理」の方が大きく何も変わらない。手続きも大事かもしれないけど、不便な事、昔を引きずっている事は手早く変えて欲しい。何かと古い。 | 知的障害 | 女性・16歳 |
| 教育環境が重要だと思います。健常児の子も、障害のある子と一緒に育つ・暮らすことにより、それが普通になると思います。 | 知的障害 | 男性・3歳 |
| 学校でも、素晴らしい先生と、適任でない先生がいました。全般的に色々と配慮して頂いているのを感じ、感謝していますが、最終的には運というか、巡り会いにかかっている気がします。情報の共有を、今後もよろしくお願いします（学校からの持ち帰りプリントにも、色々な情報があり、助けになりました）。 | 手帳・診断なし | 男性・11歳 |
| 小学校の特別支援教育のあり方が、保育園までの支援の手厚さからすると不十分に思える。情緒固定級を設置するか、通常級自体を情緒級並の視覚支援、環境調整を入れるなど、不登校や二次障害を防ぐ体制をとるべきではないか。知的障害のない自閉症の子は現状で“居場所がない”と感じる。 | 手帳・診断なし | 男性・6歳 |

【４　保育・療育】

| 意見の内容 | 障害の種類 | 性別・年齢 |
| --- | --- | --- |
| 医療的ケアが必要な子供でも通える子ども園などがもっと充実して欲しい。ケアが必要だと親が働きたくても働く事が出来ない事があると思う。潜在的な待機児童は多いと思う。 | 内部障害 | 男性・5歳 |
| 手帳が出来て、療育を受ける事が出来るようになりました。楽しく療育に通っています。他の子に比べると成長はゆっくりですが、徐々に出来る事が増えて、嬉しく思います。療育が受けられる様になって、不安が少しずつ解消しました。相談できることが何よりの救いです。１人では育てられません。心から感謝しております。ありがとうございます。 | 手帳・診断なし | 女性・4歳 |
| 「あいあい」で療育を受けておりますが、月に１回しか行けません（あいあいの事情）。新型コロナの影響とのことですが、子の発達支援にとても助かっているので、早く「月に複数回」行かせて頂けるようご調整お願い申し上げます。 | 手帳・診断なし | 男性・4歳 |
| 受けたいサービス（放課後等デイサービス）が、キャンセル待ちで３年経っても順番が回ってこない、もしくは混んでいて新たに入所できない。子供に適切な時期に適切な療育を受けさせられないことが残念に思う。 | 手帳・診断なし | 女性・9歳 |
| 新宿区在住であったから、早期に療育を始めることができ、子供の発達の困り事について手助けをすることができたと思います。（他の区ではなかなか受給者証も頂けないと聞きます…。）ありがとうございます。今後も変わらない新宿区であると、嬉しく思います。 | 手帳・診断なし | 男性・7歳 |
| 療育施設が少ないので入りづらい。他の区に比べて対応が遅いです。 | 精神障害 | 女性・5歳 |
| 何年もの間、療育や移動支援のお陰で大変助けられてきました。この支援がなければ、私一人では順調に育ててくる事が出来なかったと思います。大変、有り難く感謝しております。これから仕事をするようになりますが、仕事の後の時間をどのように過ごそうか、どのように体を動かす機会をどこで作ればいいのか悩んでいます。ぜひ、18歳以降も使える療育のようなものが出来てくれたら嬉しいと思っています。ご検討頂けたら幸いです。 | 知的障害 | 男性・17歳 |

【５　家族支援】

| 意見の内容 | 障害の種類 | 性別・年齢 |
| --- | --- | --- |
| きょうだい児を預かったり、かまってくれ、思う存分遊ばせてくれるサークルやイベントが欲しい。息子を預けることは難しいので姉がいつもかわいそう（切実です）。夫が精神的な問題を抱えており、実質は１人で収入（仕事）・育児・家事・夫の心配（ケア）をしており、金銭的にも時間的にも精神的にも自分の負担が多く感じる。 | 知的障害、発達障害 | 男性・3歳 |
| 普段の生活の支援は充実してきていると感じていますが、土・日・祝に預かってくれるところが欲しいです。小学生の間は学童クラブがありますが、中学生になると預かり先がなくなるのが不安（今、小５）です。放課後等デイサービスは18:00で終わるところが多い。長期休暇も10:30～など、仕事をしている親には難しいです。学童と同じように（8:00－19:00）預かってくれるところを学童と同じぐらいの距離（近所）に欲しい。戸山に特別支援学校が出来ると聞いてからだいぶ経ちますが、いつ頃できるのでしょうか…。早く作って欲しいです。 | 知的障害 | 男性・10歳 |
| 子供の将来に不安があったり、障害者の家族は本当に日々、子のために努力し、頑張っています。家族の負担が少しでも減るように行政も仕組みづくりをしてくれるといいなと思います。 | 手帳・診断なし | 男性・5歳 |
| 子供に障害があっても、親が働きやすいようにして欲しい（学童の利用条件緩和など）。雇用について、幅広く仕事が選べたらよい。 | 手帳・診断なし | 男性・7歳 |
| 子供がまだ小さいので先の事は分かりませんが、発達障害＝甘え、母親のせい、と言われることが多いです。子供に対してのフォローアップはもちろんですが、母親（常に世話をしている方）へのフォローアップもかなり重要だと感じています。 | 発達障害 | 男性・4歳 |

【６　将来の不安】

| 意見の内容 | 障害の種類 | 性別・年齢 |
| --- | --- | --- |
| 高校卒業後の事が不安でたまりません。肢体不自由児者の通える施設の選択肢がほぼ無く、このままでは区外に出なければならないかもしれないと不安を抱えています。まだ小学生なのに明るい未来が見えず、不憫です。 | 知的障害、肢体不自由 | 女性・11歳 |
| 高校卒業後の医療的ケア児（人工呼吸器必要）の行き先が選べない。入れるかどうかも、いつも不安なので、早急に対応して頂きたい。最重度の障害者の行き着く先が医療入所しかないのは、生きることが辛くなります。親亡き後も、人生を豊かに産まれてきて良かったと、本人には生きて欲しいといつも思っています。 | 肢体不自由、音声・言語・そしゃく機能障害、視覚障害、聴覚・平衡機能障害、内部障害 | 女性・13歳 |
| 今は親である私が相談をして決めていますが、子供が一人になった時、会話が上手く通じない時にも親切に説明して、指導するのを願います。不親切だったという意味ではなく、ただ一人残った場合にも上手く生きて行ける様に助けてください。 | 知的障害、肢体不自由 | 女性・17歳 |
| 先の話になるが、入所施設の空きがあるかが心配。空きがあるかが問題になることが多いので障害児が増えつつある昨今、施策の充実性を図って頂けると助かる。 | 知的障害、聴覚・平衡機能障害 | 女性・7歳 |
| 医療的ケアが必要な障害児の入所施設を区内に造って欲しい。親が高齢になるにつれ、在宅で看るのは難しくなる。長期に渡る介護で、家族の負担は余りにも大きい。救いっぱなしの医療のあり方にも疑問を感じる。 | 肢体不自由、音声・言語・そしゃく機能障害、聴覚・平衡機能障害 | 女性・16歳 |
| 母（私）と子の二人暮らしで、子が知的障害です。私が高齢になり、亡くなってからの子のことがとても心配です。本人の暮らしや権利を守る仕組みづくりを進めてほしいです。 | 知的障害 | 男性・7歳 |

【７　経済的支援】

| 意見の内容 | 障害の種類 | 性別・年齢 |
| --- | --- | --- |
| 実は受けられるサービスについても、知らなければ一生知らないまま、たまたま知った人が手続きをしてお金を受け取る、という様な仕組みはおかしい。適用になるのが何なのかは、こちらでは分からないので、一括で区や都で該当するものを自動で適用し知らせるなどして欲しい。 | 知的障害、発達障害 | 女性・7歳 |
| いつも大変お世話になっております。手当などの経済的支援を利用することで大変助かっています。装具や車椅子を作る際も親切に対応して頂いており、感謝しています。 | 肢体不自由、音声・言語・そしゃく機能障害、内部障害 | 男性・13歳 |
| 経済面での負担が大きいです。将来子供が１人生活するためにいくら必要なのか？また自立するための経済的支援が充実して欲しい。 | 知的障害 | 女性・15歳 |
| 所得によりサービスがとても高額になることがあり納得できない。だれでも障害者や障害児の家族になる可能性があるので、所得の高低であまりにも差をつけられると精神的にも経済的にも非常につらい。新宿区は福祉に手厚いと思ってはおりありがたいですが、障害児に収入はないので親の収入で区別することはやめてほしいです。 | 知的障害 | 男性・7歳 |

【８　障害理解】

| 意見の内容 | 障害の種類 | 性別・年齢 |
| --- | --- | --- |
| 子供の頃から身近に障害者がいない場合、大多数の人はよくわからない、接し方がわからないから距離をおいたり、関わらないようにするというケースが多いと思う。子供の頃からそういう人もいるのだということを生活の中で実感していれば双方にとって長い目で見た時に良い影響が出ると思う。早くから生活の中で障害者と一般の方が一緒に過ごせるのであればその方が良い。なるべく子供のうちから接点は多く作って欲しい。大人になってからでは遅い。 | 手帳・診断なし | 男性・7歳 |
| 子育てしている親同士でも知識がなく説明をするのに大変でした。障害者に関わる人だけ知るのではなく、親世代が知らなくては障害者のサポート・理解はできにくいと思います。学生など若い時から知っている方が、受け入れやすいのでは…と思います。又は、母親学級など、どこかの時点で知ると変わってくるのでは…。教育者の先生達も知識にバラつきがあり、小学校の時は大変でした。大学で何を学んできたんだろう…と思うこともありました。教員の知識を深めるサポートも必要なのではと思います。 | 知的障害 | 男性・16歳 |
| 軽度の知的障害は、見た目では分からないため、トラブル（外出時）にあった時のためになにか分かる物があったらいいと思っています。学生のため手帳は持たせていませんので、外でのトラブルが少し心配です。 | 知的障害 | 男性・16歳 |
| 教員が発達障害についての理解が乏しいと思う場面が多々あります。教員個人によるのは当たり前とも思いますが、それでも、最低限のことも知らない先生も多く見受けられます。教員の研修をもっと研修を増やして、理解を深めるようにしていただきたいです。 | 発達障害 | 男性・13歳 |

【９　健康・医療】

| 意見の内容 | 障害の種類 | 性別・年齢 |
| --- | --- | --- |
| 発達障害（２～３才）の知識をもう少し知っていたら、子供を療育に通わせるのが早かったと思う。定期健診などで、情報の共有や、可能性のある病気や名前を知っておく機会が欲しかった。特に１人目の子は何も知らない事が多く、人に指摘されにくいものは特に…。 | 発達障害、難病・特定疾患 | 男性・3歳 |
| 障害は１人１人状況や程度が違うので、その人が必要とするサービスに結びつけることが難しい場合もあるかもしれませんが、柔軟に対応して頂けると助かります。我が子は乳児健診で発達相談をしたことから、あいあいと医療機関につなげて頂きました。私の場合は自分から相談しに行くのが難しかったので、健診で相談出来て良かったです。 | 知的障害、発達障害 | 男性・4歳 |
| 子どもの今後の相談することができる場は、長い期間を考えると医療機関しかないのかと考えるようになってきました。本人も落ち着いて話しを毎回相談出来る同じ人を希望しているようです。ただどこの医療機関にかかったら良いのか親としては非常に迷っています。 | 手帳・診断なし | 男性・8歳 |

【10　その他】

| 意見の内容 | 障害の種類 | 性別・年齢 |
| --- | --- | --- |
| どんな人も元気で楽しく生活を送り、幸せな人生を過ごせる社会にして欲しいです。 | 知的障害 | 男性・13歳 |
| 現状の成年後見制度は認知症など高齢者には適しているかもしれませんが、障害者には向きません。成人後から長きに渡り他人に財産を管理されることに全く納得がいきません。早急に改善されるべきだと思います。 | 知的障害、肢体不自由 | 女性・15歳 |
| 子供に障害があっても働きやすいこと。ある程度のことができれば、本人がある程度仕事ができるようになって欲しい。 | 発達障害 | 女性・4歳 |
| 連絡会議等により当事者の声を共有出来る場がある事はとても素晴らしいと思う。また、個々のケースに応じた支援を一緒に検討して下さり、とても助かっている。防災についての支援を今後詰めていけたらと思う。 | 肢体不自由 | 女性・6歳 |

##

## 12　医療的ケア児の保護者に対するヒアリング

・医療的ケア児の生活状況等について詳細に把握するため、調査項目に関して聞き取り調査を実施しました。

１　調査期間　令和４年11月29日（火）から12月７日（水）まで

２　調査方法　主に人工呼吸器、気管切開、吸引、経管栄養等の医療的ケアの必要な児童について、区職員が自宅訪問等により聞き取り調査を実施。

３　調査人数　７人

|  |
| --- |
| 問13　介助や支援についての悩み |
|  | ・児童通所では待機を求められ。精神的・体力的に疲れる。・保育園に入れなかったので退職した。・夜間も含め２４時間吸引が必要。学校では看護師、家では家族が対応。寝不足になりがち。・身内が近くにいないため、母に何かあったときに対応できる人がいない。・訪問看護やヘルパーは、土日や長時間の対応が難しい。・歩ける医療的ケア児。自分で管を抜いてしまうことがあるため対応してくれる事業所が少ない。 |
| 問14　きょうだい児に関する悩み |
|  | ・本人の体調不良があると、きょうだいの面倒を見られなくなることがある。・学校行事や土日の課外授業に参加できない。・きょうだいの体調不良があっても、すぐに病院に連れて行けない。・本人の介助者がいないと、きょうだいを登園させられず、休ませることがあった。 |
| 問20・問22　通園生活・通学生活等で困っていること |
|  | ・学校の先生が医療的ケア児への対応に不安を抱えていると思う。手探り状態。・知的障害のない医療的ケア児への教育について、ノウハウがまだない。・送迎バスについて、迎えは毎日保護者かヘルパーが行わなければならない。・写真カード等、コミュニケーション支援にもっと力を入れてほしい。 |
| 問21　小学校の入学希望 |
|  | ・特別支援学校を考えているが、情報が無いためまだよく分からない。 |
| 問28　外出に関して困っていること |
|  | ・歩道に立て看板や自転車などが多く、車椅子で通行できない。・吸引器等の医療物品を持ち歩くので、持ち物が多い。・外出は車で行ける所に限られる。・障害者用のトイレでも、狭くて使えないことがある。座位を保持できない子は使えるトイレがさらに限られる。 |

|  |
| --- |
| 問34　災害が発生したときに困ること |
|  | ・災害時要援護者名簿には登録しているが、いざという時何をしてくれるか分からない。・医療的ケア児の避難訓練をやるべき。具体的なことが分からず不安。・電源について、健常者の需要も多いと思われるため心配。 |
| 問35　災害に対して備えていること |
|  | ・訪問看護師、保健センター、相談支援専門員と災害時個別支援計画を作成している。・ポータブル電源の準備がある。 |
| 問38　差別と感じる取扱いを受けた経験 |
|  | ・健康チェック等、記入する書類が多い。給食も送迎バスも利用できる様になるまで何か月もかかる。・保育園入園について、話が進まなかった。・バスの運転手によっては、あからさまに拒否的な態度を取られることがある。 |
| 問39　配慮があって助かったこと |
|  | ・通学バスが医療的ケアに対応していなかったが、乗れるようになった。・処方箋の写真を撮って薬局へ送れば薬を自宅まで届けてくれる。・関係機関の連絡会があるのは良いと思う。新宿区の障害者福祉課は医療的ケア児のコーディネーターも多く積極的に取り組んでいると思う。・医療的ケア児支援法の施行により、通学バスへ看護師が同乗してくれるようになったり、地域での学校での受け入れ等の対応が進んだと感じる。 |
| 問44　地域で安心して暮らすために重要な施策 |
|  | ・インクルーシブ教育というが、教師や施設の環境整備が不十分なまま実施しても現場が耐えられないのではと思う。・色々な部署に問合せ、同じ話を何度もしなければならない。相談窓口を一本化できないか。・当事者がもっと参加し交流できるような連絡会があると良い。 |
| 問45　自由意見 |
|  | ・あゆみの家の定員が不足するのではないかと不安。・卒業後の進路の選択肢が増えてほしい。・子の支援や健康状況により、親の会等の活動に参加したいと思っていても難しい。要望が無い訳ではないことを理解してほしい。・もみじの家のような短期入所施設が区内にもあると良い。・小学校に入るまでの過程が大変だった。医療的ケアのある子もすんなりと入学できるようになってほしい。・親が就労に復帰できるような環境があると良い。・医療的ケア児の活動できる放課後等デイサービスが増えてほしい。・訪問看護のレスパイトについて、支給時間数は増えても事業所が人員不足のため入れない。また、在宅での利用のみという制限をなくしてほしい。 |

　※個人情報保護のため、回答の一部を省略・要約しています。